

ネイチャーセンターだより

ウソ

Pyrrhula pyrrhula

ネイチャーセンター横の自然学習林では、『ウソ』という鳥が見られます。オスは頬が赤くとても可愛い顔をしています。

特によく見られるのが、ツルアジサイのある所です。ツルアジサイの花はドライフラワーのように冬も茶色の花（正しくは装飾花とよばれるがく片）が残っているので、見つけやすいです。この実をもぐもぐと食べているところをよく見かけます。

駐車場からセンター周辺でもときどき見かけます。



フィールドボランティアの活動報告

「ワシワシウォッチング」

1 / 28

結氷した風蓮湖で、毎年恒例となった人気の行事のワシワシウォッチングを実施しました。23名の参加者を集め、師さんの氷上での作業や、氷上に集うオオワシ・オジロワシを観察しました。

スタッフとして、レンジャーの他、フィールドボランティア2名が、安全管理、双眼鏡の使い方説明係、写真記録係、観察補助などを担当してくださいました。1週間ほど前に、事前下見と打ち合わせを行い、氷上で歩くための注意事項、プログラムにかかる時間や内容を確認し、当日に備えました。



当日は、晴天に恵まれ、氷上に多くのオオワシ・オジロワシを観察することができました。また、間近で漁師が行う氷下待ち網漁（氷に穴をあけ、網をしかけてコマイなどをとる漁）を見学させていただき、子供達だけでなく、大人も一緒になって、その作業を見入りました。

参加者からは「オオワシが沢山見られ、素晴らしいと思った。」「ほかのこどもたちにこの行事をたいけ

んさせれば良いと思う。」などの声が聞かれるほど盛況のイベントとなりました。

レンジャー以外に、ボランティアがスタッフとして関わったことで、怪我した参加者もなく無事に、そして円滑にイベントを終えることができました。

ボランティアの皆様、ありがとうございました。



あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか

ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。

自然の好きな方、子供が好きな方お待ちしております。ご興味のある方などいらっしゃれば、随時、ネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。



自然情報 * 3月*

海からの風により体感温度が下がります。
帽子・手袋、そして暖かい服装で散策してください。



オオハクチョウ

今年は風蓮湖が完全に結氷せず、残っているものもいましたが、これから南から渡って来るのもので数が増えます。オオハクチョウとともにヒドリガモやオナガガモなどのカモ類も渡ってきます。



雪解けにともない足元が悪くなります
注意して歩いてください

タンチョウ

今年は温根沼などで冬を過ごしたつがいもいましたが、鶴居や阿寒からタンチョウが繁殖のために根室周辺に戻ってきます。



オオワシ・オジロワシ

風蓮湖周辺で冬を過ごしていたオオワシが見られるのはあとわずかです。オジロワシは、少数が残り、繁殖しているものもいます。



カラ・ケラ

自然学習林では、シジュウカラやアカゲラなど、カラとケラ(キツツキ)の仲間が観察しやすいです。



ミソサザイ

とても小さい体の鳥ですが、びっくりするほど大きく、長いフレーズでさえずる声が聞こえ始めます。



エゾリス

エゾリスは冬眠をしないリスなので、森の中を元気に走り回っています。センター周辺に出ることも・・・



センターでは双眼鏡の無料貸出をしています
どうぞお気軽にご利用ください



ネイチャーセンター日記



風 蓮湖

春 国 岱



風蓮湖は完全結氷し、オホーツク海には沿岸氷とよばれる氷が浮かび、湖も海もそして春国岱の砂丘も、氷や雪で白一色の世界になる冬ですが、今年の冬景色はちょっと違いました。

あまり積雪がなく、茶色の草が見える春国岱、中央付近に水面が開いたままの風蓮湖、沿岸氷の少ない青い海。2月中旬頃に接岸する流氷は影も形も見えません。

いつもなら春国岱の草原にいるハギマシコという冬鳥なども見られず、また昨年の暴風雨で木道が壊れ、森を回るコースが散策できなかつたりと少し寂しい冬ではありましたが、そのかわりに例年は見られないオオハクチョウや周辺ではタンチョウが越冬していました。

オオハクチョウやタンチョウには悪いのですが、来年の冬は雪と氷で真っ白の冬らしい冬が訪れると良いなと思いました。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内

野外解説（1～2時間 / 10～20名）

自然のお話（25分 / 10～45名）

自然のクイズラリー（1時間 / 10～50名）

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

（0.5～2時間 / 10～20名）

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

～雑学クイズ～

今月の表紙にもなっているウソ。なぜこんな名前がついたのでしょうか？

昔話から

この鳥がうそをついたお話があったことから

声から

口笛のような声が、口笛を吹くという意味の「うそぶく」から

地名から

ウソという場所にたくさんこの鳥がいたことから

答えは右側

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570

H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

3月の開館時間 9:00～16:30

3月の休館日 3/7・14・22・23・28

